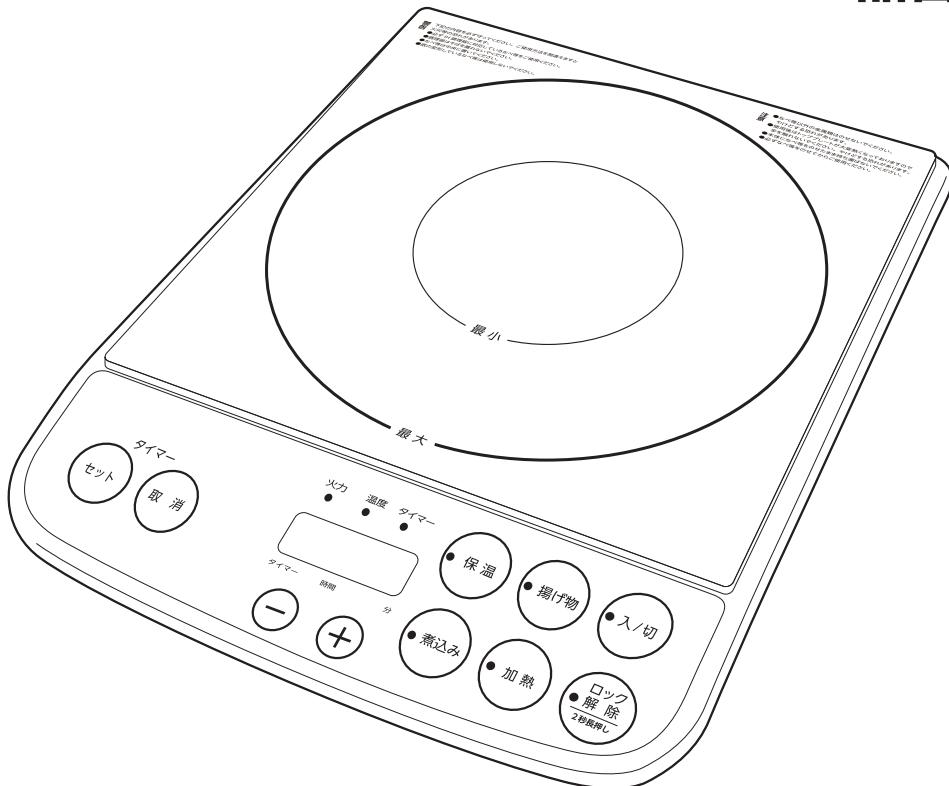


デカボタン IH 調理器 (家庭用)

取扱説明書 保証書付

品番 DI-113



このたびは、当社製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

もくじ

● 安全上のご注意	1~3	● お手入れと保管方法	13
● 使用上のご注意	4	● 故障かな?と思ったら	13
● 各部の名称とはたらき	5	● アフターサービスについて	14
● チャイルドロックの解除方法	6	● 仕様	14
● 使える鍋と使えない鍋	7	● 保証書	15
● ご使用方法	8~12		

この製品は日本国内用に設計されておりますので、国外では使用できません。(FOR USE JAPAN ONLY)

安全上のご注意

- 必ずご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する内容ですので、必ずお守りください。
- 本製品は家庭用です。業務用としてや、調理以外の目的に使用しないでください。

 警告	この表示の項目について、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示の項目について、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

図表示の例

 注意	この記号は、警告や注意を促す内容のものです。
 禁止	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
 指示	この記号は、行為を強制したり指示したりする内容のものです。

警告



電源プラグは根元まで確実にさし込む。また、マグネットプラグを本体に接続する際は、接続部に異物がないかを確認し、異物は取り除く。

さし込みが不完全な場合やさし込みのゆるいコンセントの使用、またマグネットプラグの不完全な接続は感電・発熱による火災の原因となります。



電源コードを傷つけたり、破損するようなことはしない。
傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物をのせる、束ねるなどしない。
コードが傷つくと感電・火災の原因になります。



傷んだ電源コードは使用しない。
感電やショート、発火の原因になります。
販売店へ点検・修理を依頼してください。



定格15A以上のコンセントを単独で使用する。

タコ足配線をするとコンセント部が異常発熱して発火することがあります。



交流100V以外では使用しない。
(日本国内100Vのみ)
火災の原因になります。



電源プラグをぬれた手で抜きさしない。

感電や故障の原因になります。



改造はしない。
絶対に分解したり修理をしない。

発火・感電・けがの原因になります。



トッププレートの上に、ガスボンベ、缶詰、その他電気製品などを置かない。

爆発・火災・やけどなどの原因になります。

⚠ 警告



トッププレートに衝撃を加えない。

ひびが入ったり割れた場合、破片が飛び散り、大けがをするおそれがあります。またそのまま使うと加熱し過ぎたり異常動作・感電の原因になります。このような場合はただちにご使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて使用しないでください。



吸気口・排気口やすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。

感電・ショートや異常動作を起こし、けがの原因になるおそれがあります。



水につけたり、水をかけたりしない。

感電・ショート・故障の原因になります。



小さな子供だけで使用させない。
また、乳幼児のそばで使用したり手の届くところに置かない。

けが・やけど・感電の原因になります。



調理中はそばを離れない。特に揚げ物調理中はそばを離れない。

油温が上がりすぎて発火するおそれがあり大変危険です。



みそ汁や、とろみのある食品（カレーなど）を加熱するときは火力を低めにして、よくかき混ぜながら使用してください。

水や調理物を加熱していると、突然沸騰して水や調理物が飛び散ることがあり、やけど・けがの原因になります。



自分で操作できない人や取り扱いに不慣れな人だけでの使用はさせない。

けが・やけど・感電の原因になります。

⚠ 注意



他の器具（ガスコンロなど）であらかじめ加熱した油を使わない。

温度制御装置が働かずに異常加熱し、火災の原因になることがあります。



揚げ物調理中に油煙が多く出たら電源を切る。

油が高温になっていますので続けて加熱すると発火し火災の原因になります。



揚げ物調理中は油の飛び散りに注意する。

やけどするおそれがあります。



水のかかる所や火気の近くで使用しない。また、金属の台の上で使用しない。

故障、変形や感電、漏電の原因になります。



不安定な場所では使用しない。

本体が傾いていると、鍋が滑り落ち、やけど・けがの原因になります。



吸気口・排気口はふさがない。

本体内部の温度が上がりすぎて、火災の原因になります。とくにテーブルクロスのしわなどで吸気口・排気口をふさがないようにご注意ください。



鍋などは中央において使用する。



複数の鍋などをのせて使用しない。



鍋の下に紙などを敷かない。

鍋の熱で紙がこげたりして、火災の原因になります。

⚠ 注意



トッププレートの上にアルミ製容器
(使い捨て簡易鍋など)・アルミホ
イルやレトルトパックなど、鍋以外の
ものはのせない。

破裂したり、赤熱してやけど・けが・火災の
原因になります。



空だきや加熱し過ぎない。

鍋が熱くなり、やけどの原因になります。また、
鍋の破損や本体の故障の原因になります。



本体に鍋をのせたまま持ち運ばない。

鍋が滑り落ちて、やけどやけがの原因になり、
大変危険です。



使用後しばらくはトッププレートに触
らない。

鍋の熱でトッププレートが熱くなっているた
め、やけどをするおそれがあります。



電源プラグをコンセントから抜くとき
は、電源コードを持たずに電源プラ
グを持って抜く。

コードを引っ張ると、破損して、感電・ショ
ート・火災の原因になります。



心臓用ペースメーカーをお使いの方
は、本製品のご使用にあたって必ず
医師に相談する。

本製品の動作が、ペースメーカーに影響を
与えることがあります。



調理以外の目的に使用しない。

故障や発火の原因になります。



使用時以外は、電源プラグをコンセ
ントから抜く。

けが、やけどや感電・漏電・火災の原因に
なります。

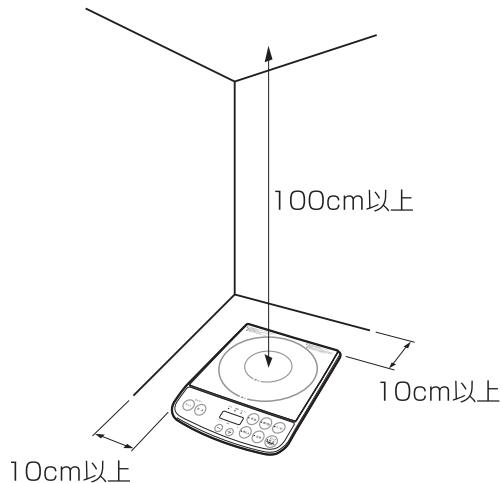


付属の電源コード以外は使用しない。

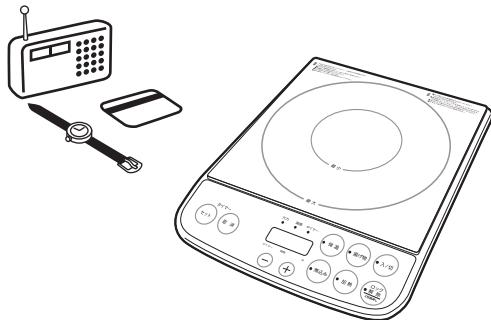
故障や発火の原因になります。

使用上のご注意

- 図のように距離を離してお使いください。
 - ・油が飛び散って、やけどや火災の原因になります。



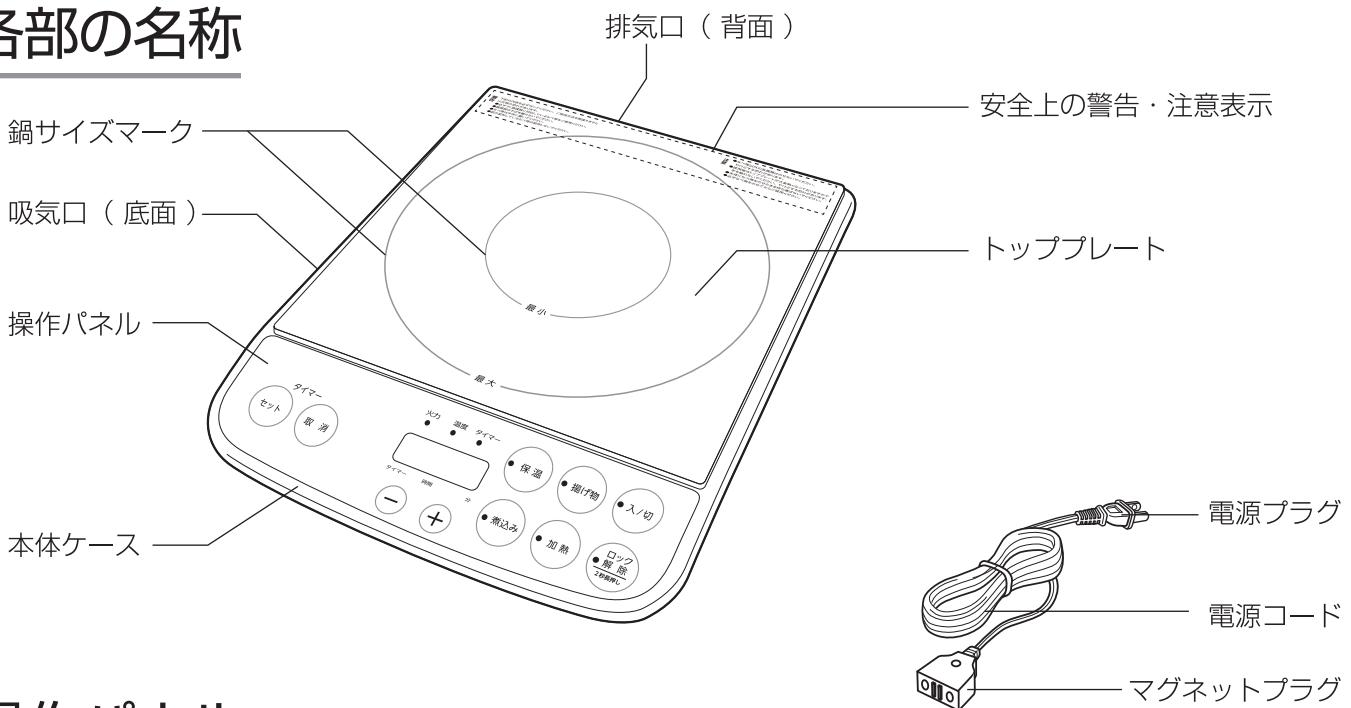
- トッププレートや鍋の底がぬれた状態で使用しないでください。
 - ・鍋の底から湯気が吹き出して、やけどの原因になります。
- 使用中は磁力線が出ているため、磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。
 - ・テレビ・ラジオ・時計など
 - ・キャッシュカード・自動改札用定期券など(記録が消えるおそれがあります)



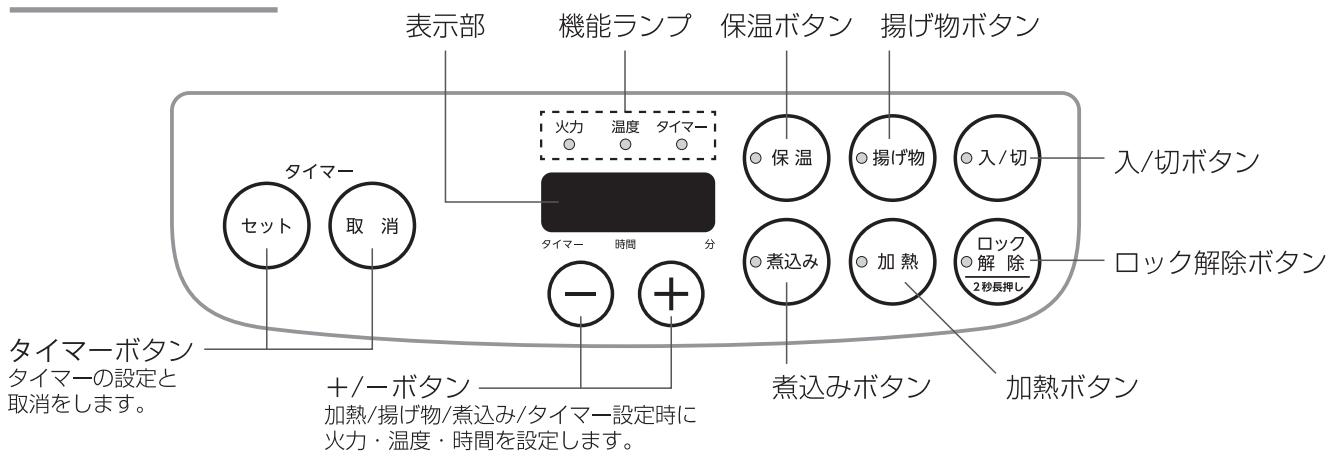
- 本製品を外部タイマーやリモコンで操作しないでください。
- 本製品を並べてご使用にならないでください。
- 排気口からは熱風が出るため、手や顔を近づけないでください。
- 排気口から熱風が出て、卓上が熱くなります。
熱に弱い物の上で使わないでください。(ビニール製テーブルクロスなど)敷物が焦げたり、火災の原因となります。
- 本製品をIH調理器の上で使わないでください。
- トッププレートの上で電磁誘導加熱調理器 (IHジャー炊飯器など) を使わない。

各部の名称とはたらき

各部の名称



操作パネル



安全機能について

- 鍋検知機能: トッププレートにのせた鍋が使用可能かどうか自動的に検知します。使用できない鍋の場合は、表示部に「E1」と表示され「入/切」のランプが点滅し、約1分間ピッピッピッ…とアラームが鳴ったあとピーッピーッと5回(×2)鳴って電源が切れます。
- 鍋なし検知機能: 加熱中に鍋をはずすと自動的に加熱を停止し、表示部に「E1」と表示され、「入/切」のランプが点滅し、約1分間ピッピッピッ…とアラームが鳴ったあとピーッピーッと5回(×2)鳴って電源が切れます。
- 小物検知機能: スpoonやナイフなどの小物を検知すると自動的に加熱を停止します。
- 温度過昇防止機能: 鍋底の温度が異常に上昇すると、表示部に「E6」と表示され、ピーッピーッピッピッ(×2回)と鳴って電源が切れます。
- 切り忘れ防止機能: 最後の操作から約2時間が過ぎると自動的に加熱を停止し、電源が切れます。
- チャイルドロック: お子様などがうっかりボタンを操作しても動作しないようにするための機能です。
- マグネットプラグ: コードに足や手を引っ掛けても、コードのみはずれるので本体の転倒を防ぎます。

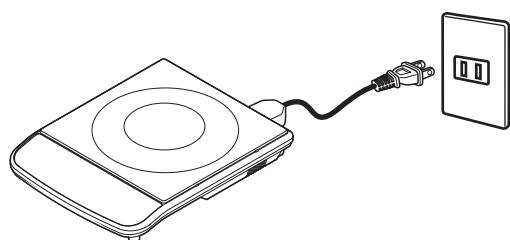
チャイルドロックの解除方法

子供のいたずらや、誤動作を防ぎます。

「入/切」ボタンを押して電源を切ってから約5分経過した後に
自動的にチャイルドロックがかかります。

また、コンセントやマグネットプラグを抜いて入れなおした場合もロックがかかります。

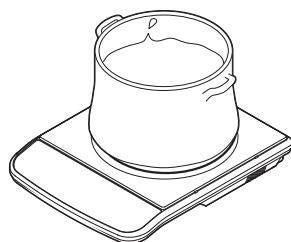
①電源プラグを差し込みます。



②ロック解除ボタンが点灯します。



③水を入れた鍋を
プレートの中央にのせます。

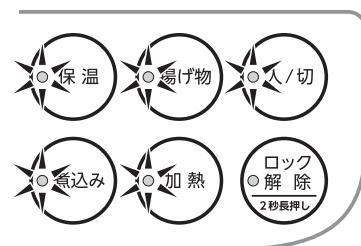


④ロック解除ボタンを
2秒以上長押しします。



⑤ロックが解除されランプが消えて
操作可能となります。

⑥「入/切」ボタンを押します。
「入/切」「加熱」「揚げ物」「保温」
「煮込み」ボタンのランプが点滅し、
冷却ファンが作動して
スタンバイ状態になります。



⑦揚げ物の場合は、「揚げ物」ボタン
を押してスタートさせます。



⑧調理終了後、「入/切」ボタン
を押します。



使える鍋と使えない鍋

安全のために、必ずIH対応鍋、CH・IH対応鍋をご使用ください。また、鍋の形状・材質によってはIH対応鍋、CH・IH対応鍋でも本製品でご使用になれない場合があります。使用前に必ず下記の要領をご確認ください。

○ 使える鍋

材質

- 鉄・鉄鑄物・鉄ホーロー
- ステンレス

IH対応土鍋

(注1) 上記の材質であっても鍋底の形状・材質によって出力が弱くなったり、検知しない場合があります。

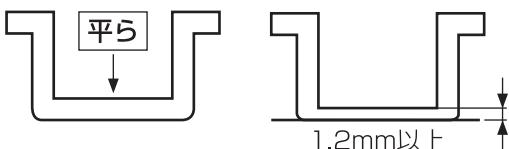
例) ●鍋底に磁石が吸着しない鍋は、材質によって鍋を検知しないことがあります。
●鍋底に鉄・ステンレス材を使用しているIH対応鍋(多層鍋・土鍋・アルミ鍋など)の場合でも、厚みや形状によって鍋を検知しないことがあります。

(注2) 鍋底が多層構造の鍋は、鍋底内部の材質によって使える鍋と使えない鍋があります。多層鍋をご利用の場合は、IH対応鍋、CH・IH対応鍋をご使用ください。

底の形状

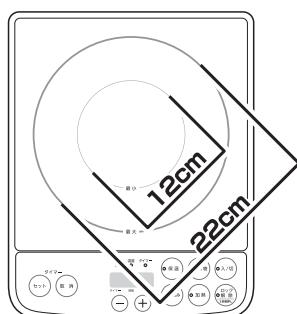
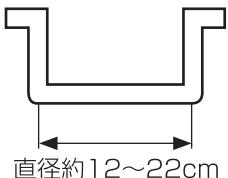
- 鍋底が平らで反りやへこみのない鍋

- 鍋底の厚みが1.2mm以上の鍋



大きさ

- 直径12~22cmの鍋 (天ぷら鍋は18~22cmまで)



※使える鍋でも、大きさ・形状・材質などにより、設定温度に対して内容物の温度が高くなったり低くなったりする場合があります。(実際の内容物の温度は調理用温度計などで確認することをおすすめします。)

※使える鍋の目安としてトッププレートに最小(12cm)、最大(22cm)の印刷があります。

✗ 使えない鍋

材質

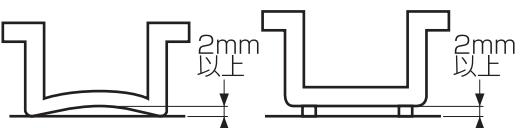
- 耐熱ガラス
- 陶器・陶磁器・セラミック
- 土鍋 (IH対応品を除く)
- アルミ・アルミ合金・銅を含むもの

底の形状

- 鍋底が平らでない鍋



鍋底が丸いもの(中華鍋など)

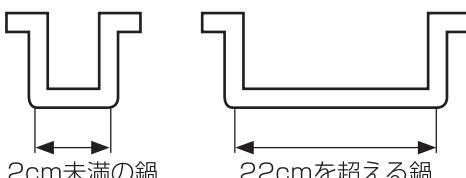


本製品との間に隙間のある鍋

大きさ

- 鍋底が12cm未満または22cmを超える鍋

(天ぷら鍋は18cm未満または、22cmを超える鍋)



使える鍋の見分け方

電源プラグをコンセントにさし込み、鍋に水を入れ、トッププレートにのせます。

①「ロック解除」ボタンを2秒以上長押しして、ロックを解除してください。

②「入/切」ボタンを押します。

③「加熱」ボタンを押して加熱してください。

・そのまま加熱されれば、その鍋は使用可能です。

・使えない鍋の場合はアラームが鳴り、しばらくすると加熱が停止し、電源が切れます。

※サイズや形状が上記の「✗ 使えない鍋」の範囲であっても、加熱され使用可能な場合がありますが、
このような鍋は使用しないでください。

④ 加熱された場合は、「入/切」ボタンを押して加熱を停止してください。

・トッププレートや鍋が熱くなる場合がありますのでご注意ください。やけどをするおそれがあります。

注意 揚げ物で使用する鍋について

・油が少量の場合、通常よりも低い温度で発火して火災のおそれがあります。油の量はお使いになる鍋の取扱説明書をご確認の上、ご使用ください。またステンレス鍋の場合、火力が強くなることがあります。

ご使用方法／加熱調理

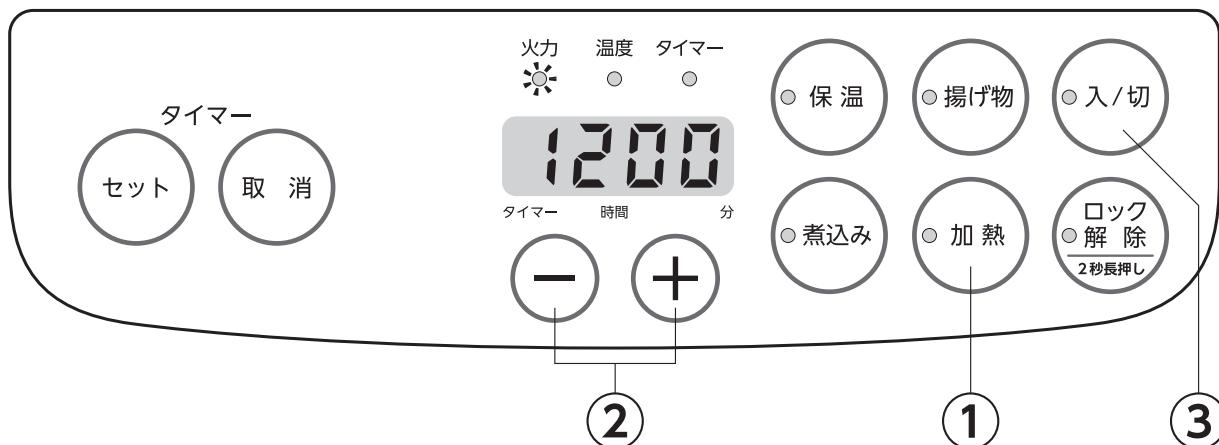
火かげんを調節する調理のときに使います。

準備

1. マグネットプラグを本体に取り付けます。次に電源プラグをコンセントにさし込みます。「ピーッ」と1回アラームが鳴り、表示ランプが全て一度点灯したあと「ロック解除」ボタンだけランプが点灯し、チャイルドロック状態になります。
2. 材料や水を入れた鍋をトッププレートの中央に置いてください。
3. 「ロック解除」ボタンを2秒以上長押しします。
ピッと鳴ってロックが解除されランプが消えて操作可能となります。
4. 「入/切」ボタンを押します。
「入/切」「加熱」「揚げ物」「保温」「煮込み」ボタンのランプが点滅し、冷却ファンが作動します。
※約1分間、何も操作をしないと自動的に電源が切れます。

 加熱ボタンでの揚げ物調理は、
火災の原因になるので絶対に
しないでください。

(スタンバイ状態)



- ① 「加熱」ボタンを押します。
表示部に「1200」と表示され、火力ランプと「加熱」ボタンのランプが点灯します。
- ② 「-」「+」ボタンを押して火かげんを調節します。
(200、400、600、800、1000、1200Wの6段階で設定できます。)
- ③ 調理終了後、「入/切」ボタンを押し、加熱を終了させます。
※調理終了後もしばらくは冷却ファンが作動します。
- ④ 電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 加熱調理ではタイマーが使えます。
(→12ページ)



使用後しばらくはトッププレートに触らない。
鍋の熱でトッププレートが熱くなっているため、
やけどをするおそれがあります。

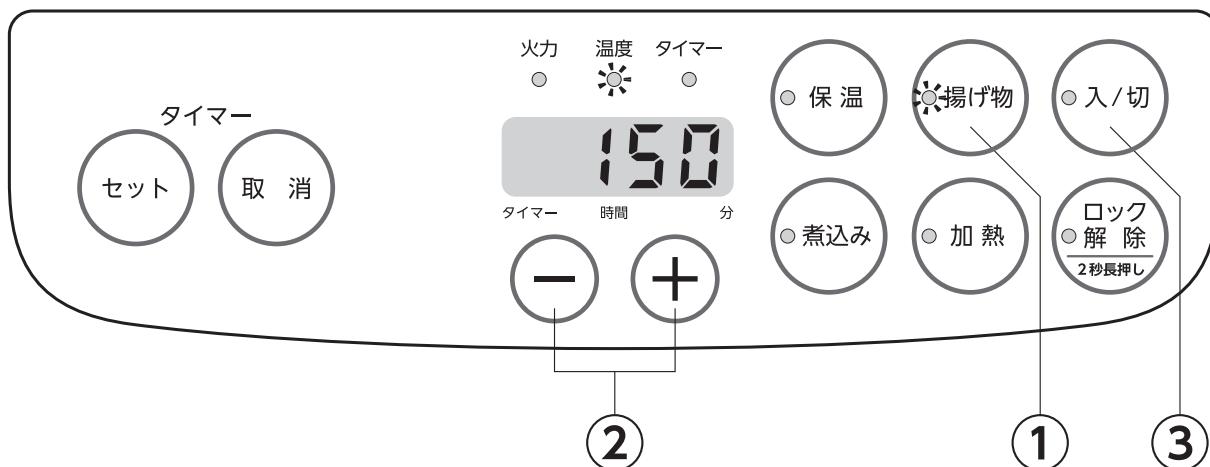
ご使用方法／揚げ物調理

揚げ物で温度を設定して調理します。

準備

1. マグネットプラグを本体に取り付けます。次に電源プラグをコンセントにさし込みます。「ピーッ」と1回アラームが鳴り、表示ランプが全て一度点灯したあと「ロック解除」ボタンだけランプが点灯し、チャイルドロック状態になります。
2. 油を入れた鍋をトッププレートの中央に置いてください。
3. 「ロック解除」ボタンを2秒以上長押しします。
ピッと鳴ってロックが解除されランプが消えて操作可能となります。
4. 「入/切」ボタンを押します。
「入/切」「加熱」「揚げ物」「保温」「煮込み」ボタンのランプが点滅し、冷却ファンが作動します。
※約1分間、何も操作をしないと自動的に電源が切れます。

(スタンバイ状態)



- ① 「揚げ物」ボタンを押します。
表示部に「150」と表示され、温度ランプと「揚げ物」ボタンのランプが点灯します。
- ② 「-」「+」ボタンを押して温度を調節します。
(150、160、170、180、190、200°Cの6段階で設定できます。)
※鍋の大きさ、材質、形状、内容物などによって設定温度に対して誤差が生じることがあります。調理用温度計などで温度を確認することをおすすめします。
- ③ 調理終了後、「入/切」ボタンを押します。
※調理終了後もしばらくは冷却ファンが作動します。
- ④ 電源プラグをコンセントから抜いてください。



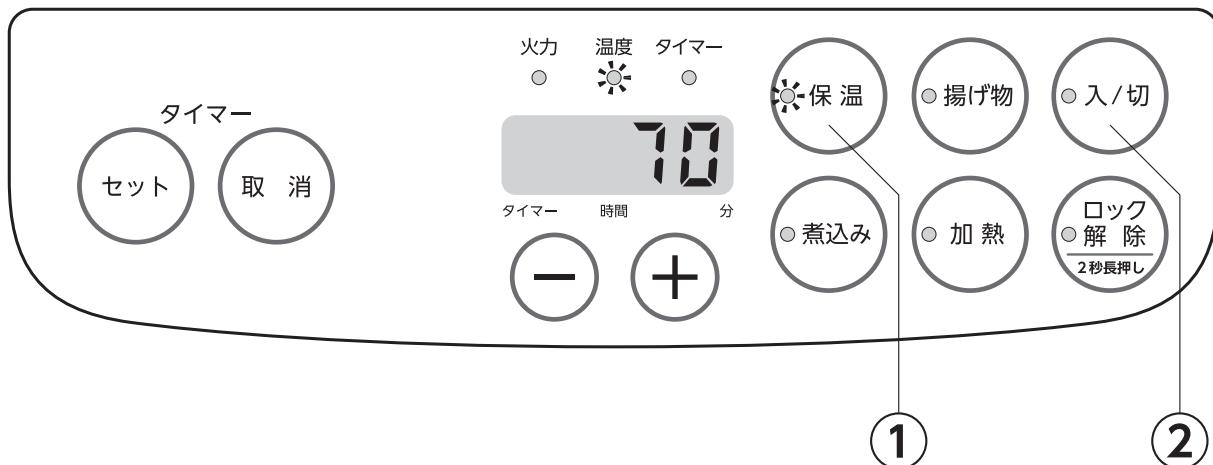
使用後しばらくはトッププレートに触らない。
鍋の熱でトッププレートが熱くなっているため、
やけどをするおそれがあります。

ご使用方法／保温する

70°Cで保温します。

準備

1. マグネットプラグを本体に取り付けます。次に電源プラグをコンセントにさし込みます。「ピーッ」と1回アラームが鳴り、表示ランプが全て一度点灯したあと「ロック解除」ボタンだけランプが点灯し、チャイルドロック状態になります。
2. 材料や水を入れた鍋をトッププレートの中央に置いてください。
3. 「ロック解除」ボタンを2秒以上長押しします。
ピッと鳴ってロックが解除されランプが消えて操作可能となります。
4. 「入/切」ボタンを押します。
「入/切」「加熱」「揚げ物」「保温」「煮込み」ボタンのランプが点滅し、冷却ファンが作動します。
※約1分間、何も操作をしないと自動的に電源が切れます。
(スタンバイ状態)



① 「保温」ボタンを押します。

表示部に「70」と表示され温度ランプと「保温」ボタンのランプが点灯します。
※保温温度は70°Cに設定されますが、鍋の大きさ、材質、形状、内容物などによって誤差が生じますので調理用温度計などで温度を確認することをおすすめします。

② 保温を終了する場合は、「入/切」ボタンを押します。

※調理終了後もしばらくは冷却ファンが作動します。

③ 電源プラグをコンセントから抜いてください。

○保温調理ではタイマーが使えます。
(→12ページ)



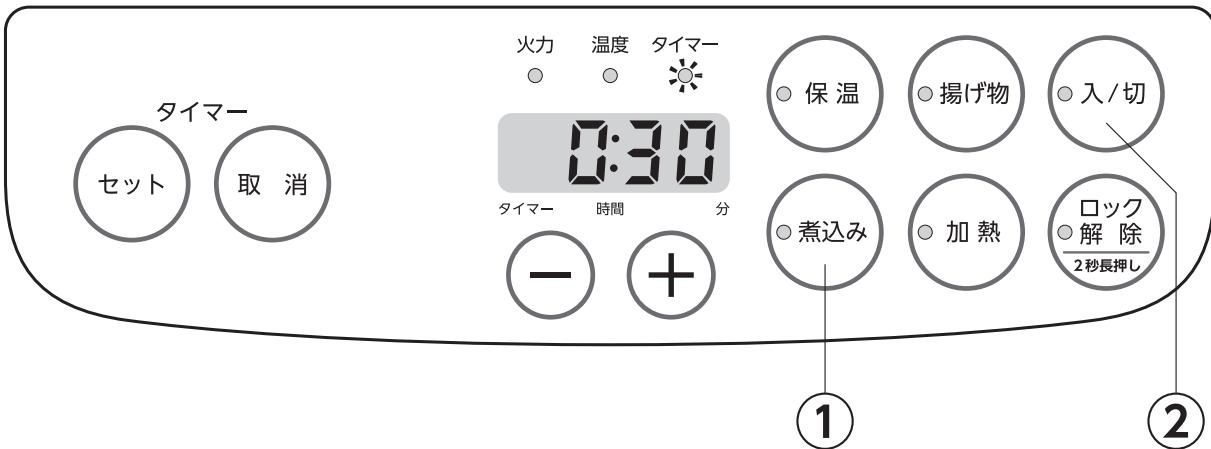
使用後しばらくはトッププレートに触らない。
鍋の熱でトッププレートが熱くなっているため、
やけどをするおそれがあります。

ご使用方法／煮込み調理

弱い火力で間欠運転します。

準備

1. マグネットプラグを本体に取り付けます。次に電源プラグをコンセントにさし込みます。「ピーッ」と1回アラームが鳴り、表示ランプが全て一度点灯したあと「ロック解除」ボタンだけランプが点灯し、チャイルドロック状態になります。
2. 材料や水を入れた鍋をトッププレートの中央に置いてください。
3. 「ロック解除」ボタンを2秒以上長押しします。
ピッと鳴ってロックが解除されランプが消えて操作可能となります。
4. 「入/切」ボタンを押します。
「入/切」「加熱」「揚げ物」「保温」「煮込み」ボタンのランプが点滅し、冷却ファンが作動します。
※約1分間、何も操作をしないと自動的に電源が切れます。
(スタンバイ状態)



- ① 「煮込み」ボタンを押します。

表示部に「0:30」と表示され、タイマーランプと「煮込み」ボタンのランプが点灯します。
煮込みボタンを押す毎にタイマーを30分ずつ最大5時間まで設定できますので、
設定したい時間を表示させてください。

セット後、表示窓にタイマーの残り時間とパターンの点滅が交互に表示されます。
※調理にあつた煮込み時間を設定し、ふきこぼれやこげつきなどに注意してください。

- ② 設定時間になると自動的に電源が切れます。

※途中で終了させたいときは「入/切」ボタンを押してください。

※終了後もしばらくは冷却ファンが作動します。

- ③ 電源プラグをコンセントから抜いてください。



使用後しばらくはトッププレートに触らない。
鍋の熱でトッププレートが熱くなっているため、
やけどをするおそれがあります。

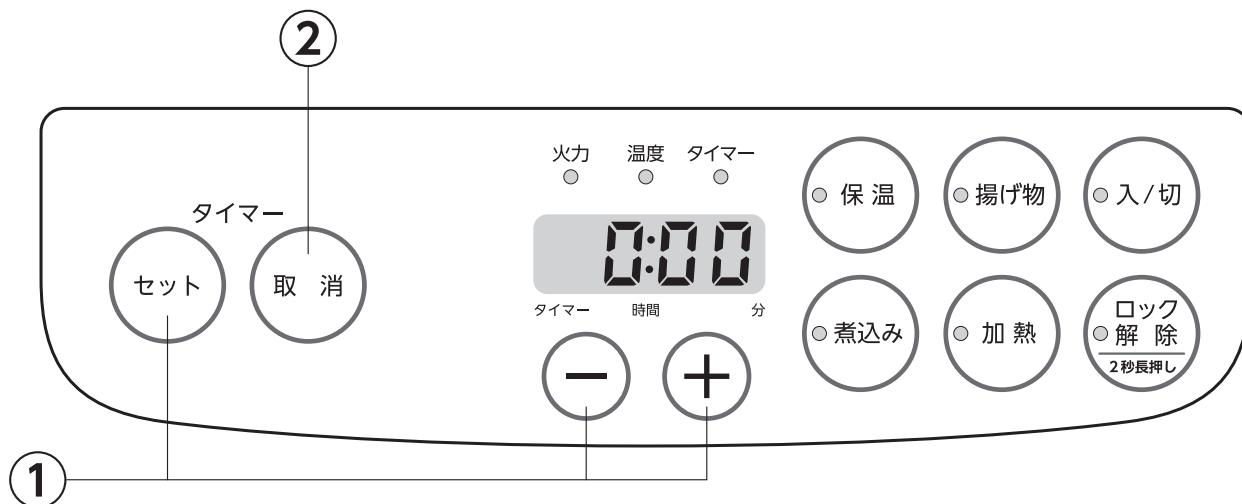
ご使用方法／タイマーを使うには

加熱調理・保温時に1分～9時間59分までタイマーをセットできます。

準備

1. マグネットプラグを本体に取り付けます。次に電源プラグをコンセントにさし込みます。「ピーッ」と1回アラームが鳴り、表示ランプが全て一度点灯したあと「ロック解除」ボタンだけランプが点灯し、チャイルドロック状態になります。
2. 材料や水を入れた鍋をトッププレートの中央に置いてください。

 タイマー使用時は、ふきこぼれや焦げ付きなどに注意してください。
3. 「ロック解除」ボタンを2秒以上長押しします。
ピッと鳴ってロックが解除されランプが消えて操作可能となります。
4. 「入/切」ボタンを押します。
「入/切」「加熱」「揚げ物」「保温」「煮込み」ボタンのランプが点滅し、冷却ファンが作動します。
※約1分間、何も操作をしないと自動的に電源が切れます。



加熱調理のとき

- ①「セット」ボタンを押すと表示部に「0:00」が表示され“時”的「0」が点滅します。
「-」「+」ボタンで“時”を設定し、「セット」ボタンを押します。
次に“分”的「00」が点滅します。
「-」「+」ボタンで“分”を設定します。
ボタンを押し続けると10分ずつ数字が動きります。
「セット」ボタンを押すとタイマーが設定されます。
このとき「セット」ボタンを押さない場合でも約10秒後自動的にタイマーが設定されます。
セット後、表示窓にセットしたワット数とタイマーの残り時間が交互に表示されます。
セットした時間になると「ピー」と鳴って自動的に電源が切れます。
②タイマーセットを途中で取り消すときは、「取消」ボタンを押して解除してください。

保温調理のとき

- ①「セット」ボタンを押すと表示部に「0:00」が表示され“時”的「0」が点滅します。
「-」「+」ボタンで“時”を設定し、「セット」ボタンを押します。
次に“分”的「00」が点滅します。
「-」「+」ボタンで“分”を設定します。
ボタンを押し続けると10分ずつ数字が動きます。
「セット」ボタンを押すとタイマーが設定されます。
このとき「セット」ボタンを押さない場合でも約10秒後自動的にタイマーが設定されます。
セット後、表示窓に保温温度「70」とタイマーの残り時間が交互に表示されます。
セットした時間になると「ピー」と鳴って自動的に電源が切れます。
②タイマーセットを途中で取り消すときは、「取消」ボタンを押して解除してください。

お手入れと保管方法

警告 ●必ずコンセントから電源プラグを抜いて、トッププレートや本体が冷めてから、お手入れしてください。
●お手入れの際に次のものは使わないでください。変色、変質するおそれがあります。
シンナー・ベンジン・ガソリン・灯油・アルコールなど

トッププレート

よければ、ぬるま湯または中性洗剤をつけてかたく絞ったふきんで拭き取ってください。汚れがひどい場合は、みがき粉かクリームクレンザーを使ってこすったあとで、かたく絞ったふきんで拭き取ってください。(金属たわしなどは使わないでください。傷をつけるおそれがあります)

本体ケース・操作パネル

かたく絞ったふきんで拭き取ってください。汚れがひどいときは中性洗剤をつけて、かたく絞ったふきんで拭き取ってください。(お手入れの際に直接水や洗剤をかけて掃除することは、絶対にしないでください。また、みがき粉やクリームクレンザーなどを使用しますとケースに傷をつけるおそれがありますので、使用しないでください。)

吸気口・排気口

掃除機でほこりを吸い取ってください。ほこりがついたまま使用すると、本体内部に熱がこもり、発熱・発火・故障の原因になります。
※使用しないときは、ほこりなど異物が本製品内部に入らないように箱や袋に入れて保管してください。

故障かな?と思ったら

異常があったときは、以下の点をお調べになり、それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	お調べいただく内容	
「入/切」ボタンを押しても表示がつかない。(電源が入らない)	<ul style="list-style-type: none">・電源プラグが抜けていませんか。・お部屋のブレーカーが落ちていませんか。・チャイルドロックを解除してありますか。	
加熱しない。	<ul style="list-style-type: none">・「使える鍋と使えない鍋」をご確認ください。(7ページ参照)	
調理中に電源が切れた。	<ul style="list-style-type: none">・オーバーヒートの可能性があります。本体を十分に冷ましてから、再度ご使用ください。・吸排気口がふさがれていませんか。(プレートや本体内部が異常に高温になると停止します)・2時間以上操作せずに加熱していませんか。(切り忘れ防止機能により停止)・空だきをしていませんか。(温度加昇防止機能により停止)	
ピッピッとアラームが鳴り続けて、しばらくすると止まる。	<ul style="list-style-type: none">・鍋の位置がトッププレートの中央からずれていませんか。・鍋をのせていますか、または使えない鍋をのせていませんか。・ナイフなどの金属の小物がのっていますか。	
冷却ファンの付近から異音がしたり、回転に異常がある。	<ul style="list-style-type: none">・このような場合は危険ですので電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご連絡いただき、修理をご依頼ください。	
電源コードに傷がついたり、切れてしまったとき。	<ul style="list-style-type: none">・このような場合は危険ですので電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。	
電源プラグを差し込んだとき、パチッと火花が出る。	<ul style="list-style-type: none">・これはIH調理器特有のもので、異常ではありません。	
使用中に鍋から音がする	<ul style="list-style-type: none">・鍋の種類によって「ジー」「ブーン」「キーン」など共振する音がします。(鍋の位置を少しずらすか、置き直すと止まることがあります)・使用中に鍋をはずすと「ピン」という金属音がすることがありますが、異常ではありません。・使用中に鍋蓋から「ピチッ」「パキッ」という音がすることがありますが異常ではありません。	
エラー	E 0	<ul style="list-style-type: none">●電源プラグを抜いて、2分後にもう一度電源を入れ直してください。●オーバーヒート状態
	E 1	<ul style="list-style-type: none">●鍋をのせていますか。●使えない鍋をのせていませんか。(7ページ参照)
	E 2	<ul style="list-style-type: none">●鍋の位置が中央からずれていませんか。●鍋をかえて、おためしください。
	E 6	<ul style="list-style-type: none">●電源電圧は100Vになっていますか。電源電圧が低いときに「E2」の表示が出ます。●コンセントを抜いたとき、表示部に「E2」と表示されることがありますが故障ではありません。●空だきになってしまいませんか。●うすい鍋(フライパン等)で調理する場合は、揚げ物モードで、低い温度でおためしください。

長年ご使用頂いているIH調理器の点検のお願い

※定期的に「安全上のご注意」、「ご使用方法」を確認してください。誤った使い方、長年のご使用による影響で製品が劣化し、故障や事故につながる場合があります。

アフターサービスについて

修理やお取り扱いのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。

保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間以内

- 上記の期間は原則として無償で修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合がありますので、詳しくは保証書の記載内容をお読みください。

●保証期間後の修理について

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- 「故障かな？と思ったら」の表にて確認していただき、それでも異常のあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店に製品と保証書をご持参の上、修理をご依頼ください。なお、製品修理以外の責任はご容赦ください。

補修用性能部品について

- この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

お問い合わせ先

- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または、株式会社ドリテックまでお問い合わせください。

お客様相談センター

 0120-875-019

(受付時間：月～金10:00～12:00, 13:00～16:00 祝祭日および当社指定休日を除く)

仕様

品番	DI-113
電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	1200W
加熱調理	200、400、600、800、1000、1200W（6段階）
揚げ物調理	150、160、170、180、190、200°C（6段階）
タイマー機能	1分～9時間59分（加熱調理・保温時のみ）
本体寸法	約 幅276×奥行345×高さ57mm
本体重量	約2.1kg(電源コードを含む)
電源コード	約190cm
主要部品材質	本体ケース：ABS樹脂、ポリプロピレン トッププレート：耐熱ガラス（DI-113BK）、セラミック（DI-113WT）

※製品の仕様は改良などのため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。

本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店へご相談ください。

品番	DI-113		
保証期間	対象部品	お買い上げ日より	保証条件
	本体・電源コード	1年以内	持込修理
お買い上げ日	年	月	日
お客様	お名前 ご住所 お電話		
販売店	販売店名 ご住所 お電話		

〈保証規定〉

- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
※誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等による故障または損傷。
※ご使用上に生じる外観の変化。
※本保証書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
※本保証書のご提示がない場合。
※一般家庭以外(例として、業務用としての使用)に使用された場合の故障および損傷。
- 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
- 保証期間内に、正常なご使用状態で故障した場合には本保証書をご持参ご提示の上、
お買い上げ店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 安全上、ご使用上の注意を守らないことにより損害が生じた場合、当社は一切責任を負いません。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますのでご了承ください。また、法令の定めのある場合を除き、事前の同意をいただくことなく、上記の目的以外には使用いたしません。

修理メモ

輸入発売元 株式会社 ドリテック ☎343-0824 埼玉県越谷市流通団地2-3-9

URL : <http://www.dretec.co.jp>

お客様相談センター  0120-875-019

(受付時間：月～金10:00～12:00, 13:00～16:00 祝祭日および当社指定休日を除く)